## PCT

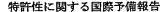
## 特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の書類記号 PCT0321ND	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。		
国際出願番号 PCT/JP03/16449	国際出願日 (日.月.年) 22.12.2003	優先日 (日.月.年) 07.01.2003	
国際特許分類 (IPC) Int	. C17 G09F9/00		
出願人 (氏名又は名称) 日東電工株	式会社		
1 この報告事け PCT35条に基づ	きこの国際予備案査機関で作成された国際	予備審本部生である	

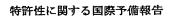
7.7.7.
1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第57条 (PCT36条) の規定に従い送付する。
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で3
3. この報告には次の附属物件も添付されている。 a
補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙(PCT規則70.16及び実施細則第607号参照)
第1欄4.及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの 国際予備審査機関が認定した差替え用紙
b 電子媒体は全部で
4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。    第 I 欄 国際予備審査報告の基礎   第 I 欄 優先権   第 II 欄 優先権   第 II 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成 第 IV 欄 発明の単一性の欠如   第 V 欄 P C T 3 5 条 (2) に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明   第 V I 欄 ある種の引用文献   第 V I 欄 国際出願の不備   第 II 欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 01.04.2004	国際予備審査報告を作成した日 28.07.2004		
名称及びあて先 日本国特許庁(IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 2M 8204 加藤 隆夫		
水水砂11~四位膜が関ニ」ロ4番3万	電話番号 03-3581-1101 内線 6221		



国際出願番号 PCT/JP03/16449

第I欄	報告の基礎		
1. د	の国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほど	い、国際出願の言語を基礎と	こした。
	この報告は、 語による翻訳文を それは、次の目的で提出された翻訳文の言語であ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査 PCT規則12.4にいう国際公開 PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査	<b>る。</b>	
2. この た <b>差</b> 替:	の報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第69 え用紙は、この報告において「出願時」とし、この	k (PCT14条) の規定に D報告に添付していない。)	ご基づく命令に応答するために提出され
$\boxtimes$	出願時の国際出願書類		
	明細書 第 ページ、 第 ページ*、 第 ページ*、		けけで国際予備審査機関が受理したもの けけで国際予備審査機関が受理したもの
. 🗆	716		がき補正されたもの けけで国際予備審査機関が受理したもの けけで国際予備審査機関が受理したもの
	図面       第		けけで国際予備審査機関が受理したもの けけで国際予備審査機関が受理したもの
3. 🗌	補正により、下記の書類が削除された。         明細書       第         請求の範囲       第         図面       第         配列表(具体的に記載すること)         配列表に関連するテーブル(具体的に記載する	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ミージ [ ミージ/図
4. 📋	この報告は、補充欄に示したように、この報告に えてされたものと認められるので、その補正がさ	れなかったものとして作成	とした。 (PCT規則70.2(c))
	<ul><li>関細書 第</li><li>請求の範囲 第</li><li>図面 第</li><li>配列表(具体的に記載すること)</li><li>配列表に関連するテーブル(具体的に記載する</li></ul>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ージ / 図
* 4.	に該当する場合、その用紙に"superseded"と記。	入されることがある。	



国際出願番号 PCT/JP03/16449

1. 見解				
新規性(N)	請求の範囲 _	. 1 – 3		有
	請求の範囲 _			無
	•	• •		
進歩性(IS)	請求の範囲	1 – 3		. 有
	請求の範囲			無
	_			
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲	1 – 3		有
	請求の範囲			無
•	_		•	•

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献1: JP 9-113927 A (富士通株式会社), 1997. 05. 02 & US 5838415 892561 A1 & KR 210187 B

A 1 & US 5

文献 2: JP 59-3421 A(株式会社日立製作所),

1984.01.10 (ファミリーなし)

文献3: JP 2001-42301 A (日東電工株式会社) 2001.02.16 (ファミリーなし)

2001-42309 A (日東電工株式会社), JP

2001.02.16 (ファミリーなし)

請求の範囲1に記載された「粘着型光学フィルムを、画像表示パネルのパネル基板に10mm角の接着面積にて500gの荷重を負荷した場合の23℃における1時間後のクリ ープズレ量 (mm) をX、前記粘着型光学フィルムの粘着剤層の厚さ (mm) をY、画像表示パネルのパネル基板表面の傷長辺 (mm) /2をZ、とするとき、式:Y× (0.97X+0.45) >0.19Z-0.006を満足するように、画像表示パネルに応じて、 粘着型光学フィルムを選択して用いる」構成が、国際調査報告で引用された上記のいずれの文献にも記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。

従って、請求の範囲1-3に係る発明は、国際調査報告で引用された上記のいずれの文献にも記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。